

OEN夏の探究セミナーレポート

一学校と企業で創る、ワクワクする探究ミーティング

1 開催概要

日 時 令和8年8月6日（木）14:15～17:00

会 場 大阪市総合教育センター シナジースクエア

参 加 企業・大学等の方 46人 教職員 39人

備 考 「みらい教育共創フォーラム2026」（大阪教育大学主催・大阪市協力）内のセミナーとして実施

2 発表内容

■講演「学校と企業が『ともに探究を創り上げる』ために必要なこと」

大阪府立市岡高等学校校長 徳永 達志氏（元 ロート製薬株式会社）

- ・ 企業側・学校側の双方を知る立場だからこそ見える、学校と企業が連携した探究的な学びにおけるそれぞれの目的と意識の違いを説明。
- ・ 学校と企業が互いの目的や条件をすり合わせ、それぞれの立場を理解しながら、単元や授業内容を設計することの重要性に言及。

■実践事例発表 大阪教育大学附属平野中学校

- ・ 生徒自身が身の回りの疑問や「好き」から課題を設定し、調査、分析・検証して答えを導き出す探究学習「JOIN」の取り組みについて発表。

■実践事例発表 大阪市立天王寺小学校

- ・ 地方独立行政法人天王寺動物園と連携し、児童が主体的に活動に取り組んだ様子やその取組の前後で見られた児童の変容について発表。

■パネルディスカッション（徳永 達志氏、附属平野中学校、天王寺小学校）

- ・ 子どもたちの主体性を引き出すための教員の働きかけや指導の工夫をはじめ、産官学が連携した取り組みの具体的な進め方、学校と企業等との望ましい関わり方についての意見交換。
- ・ 企業と学校が連携した探究的な学習の実現に向け、2学期から学校現場で実践できる「第一歩」についての共有。

学校と企業が連携した探究的な学習を進めるにあたり、学校側・企業側の双方が目的や意識を共有する重要性についてご講演いただくとともに、小学校・中学校の実践事例を通して、今後の学校と企業の連携の在り方を考えるセミナーを開催しました。教職員と企業の方によるグループ交流では、双方にとってよりよい関係をめざし、活発な意見交換が行われました。



講演の様子



パネルディスカッションの様子

3 発表のポイント

■企業側・学校側の双方の視点から見た連携の在り方を示唆

・大阪府立市岡高等学校校長 徳永 達志氏（元 ロート製薬株式会社）

講演では、「お互いにとってメリットがある関係（win-win）をどう作るか」が大切だと語られました。企業の立場からは「時間や費用がかかりすぎるのでは」という心配の声があることに理解を示しながらも、「商品をPRできる」「子どものアイデアを生かすことができる」「社員による自社の魅力を言語化することができる（自社の強みの再確認）」といったメリットも挙げられました。また、企業は単年度で成果を求める一方、教育は成果が出るまでに時間がかかるという「時間軸（時間感覚）の違い」を相互に理解し、歩み寄る姿勢が重要であると締めくくられました。

■実践事例を通して、子どもたちの「学ぶ姿」の考える

・実践事例発表 大阪教育大学附属平野中学校

「究める」という言葉が発表校の探究的な学習のキャッチフレーズにあり、物事の本質をつかむことの重要性が伝えられました。JOINでは、子どもたちが身近な課題を「自分ごと」として捉えて自発的な解決をめざし、知識や技能を活用しながら他者と協力して、テーマ設定から調査・分析・考察、さらには「新しい提案（発信）」へと繋げていったことが示されました。その実践例である「パプリカクッキーの冒険」では、「食品ロス」に関心をもった子どもたちが、単に調べて調理室で食べるという枠組みを超え、社会へ発信して商品として販売することに取組を発展させたとなりました。

本やインターネットから「自分の目や足」で確かめる場へ、学校内から「農地やお店」といった実際の社会へ、先生から「地域の人」へ、そして単に食べられるから「商品として販売できる」へと学びを広げ、学校の枠を超えて社会と直接関わることが、子どもたちの主体的な意欲と深い学びに繋がったと語られました。

・実践事例発表 大阪市立天王寺小学校

発表の中では、1つの探究のプロセスで完結させず、興味から課題発見、そして解決へと学びを発展させていったことが語られました。いきなり「解決に向けた探究的な学習」を始めるのではなく、まずは子どもたちが「課題を焦点化すること」を丁寧に行ったと伝えられました。

具体的な実践では、子どもたちの「生き物が大好き」という興味・関心を耕す段階からスタートし、動物と接しているプロの方との交流を通して関心を高めたことや、目的や調査内容を自ら考えて動物園への調査へ赴き、得られた情報を整理・分析することで「自分たちにできること」という具体的な課題を見いだしたことが伝えられました。

興味を深めて課題を絞り込む段階を丁寧に取り組むことで、次の「解決や願いの実現に向けた探究的な学習」へとつなげることができたとなりました。

4 参加者の声

■企業・大学等の方

- ・未来の子どもたちを育成するためにより教育環境をみんなで創っていきたくと思った。
- ・今回のセミナーは学校と企業側の両方にとって価値の高いものであり、貴重な機会だと感じた。
- ・企業と関わりたい学校、学校と関わりたい企業がたくさんいて、まだまだマッチングができていないのかも、だからこそ、このようなリアルイベントが大事なのかも、と思った。

■教職員

- ・企業の方々から貴重なお話を伺うことができ、総合的な学習の時間の充実を図れると感じた。
- ・児童だけでなく教員にとっても外の世界を学べるチャンスだと思った。
- ・企業の方の思いを知ることができたことが非常に良かった。



参加者交流の様子